

第 20 章 大井氏館跡遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

本遺跡の名称は『埼玉の城館跡』(1972 埼玉県教育委員会)によるもので、平安時代末から鎌倉時代に活躍した武蔵七党の一つ、村山党の大井氏一族の館跡という想定による。遺跡は砂川堀左岸(北側)の舌状に張り出した微高地上、標高 21 ～ 22m に立地し、西は川越街道に接している。砂川堀の対岸は段丘面を形成しており、比高差 5m の崖になる。

遺跡の時期は A T 降灰前の立川ローム層第Ⅳ層段階の石器群、縄文時代前期、中世、大井宿に関連した近世・近代まで多岐にわたる。

II 大井氏館跡遺跡第 26 地点

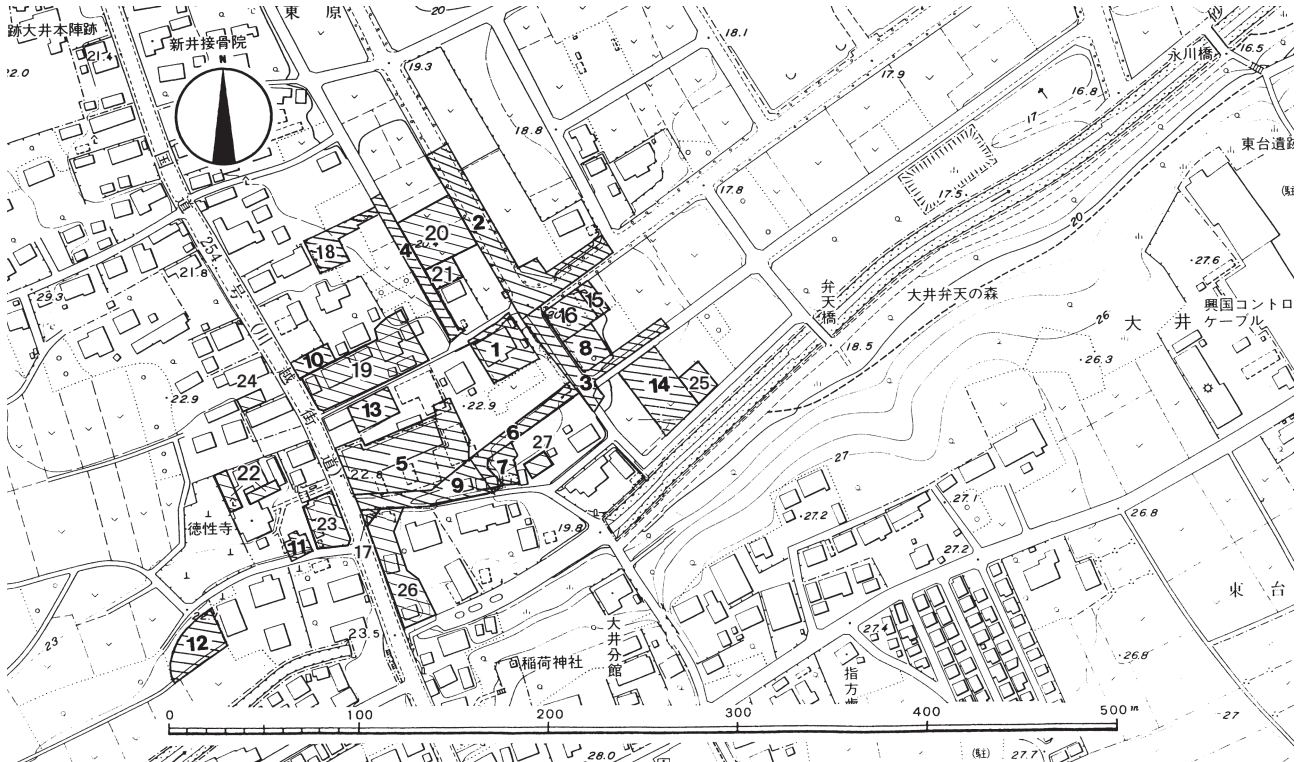
(1) 調査の概要

調査は貸店舗建設に伴うもので、原因者より 2015 年 5 月 19 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじ

第 48 表 大井氏館跡遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間( )は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1 2 3 6 8 9	大井212他	1988.6.24～1993.10.26	4,800	大井・苗間第一土地区画整理事業	旧石器時代ー石器集中6、礫群14ー石器、縄文時代ー集石土坑1、土坑4ー石器・土器、中近世・近世ー地下式坑12、井戸2、土坑28、溝5、近世土坑14ー国産陶器、舶載磁器、土師質土器、瓦質雑器類、石製品、板碑、金属製品、銭貨	調査会7
4		(1990.3.14～15)				
5	大井	(1991.6.11～17) 1991.6.18～1993.4.6	2,220	店舗建設	縄文前期住居跡1、掘立建物跡、溝、前期中葉黒浜式土器、石器、陶磁器、磁石、銅銭、金属器、土製品	調査会5・町内Ⅰ
7	大井241-1	(1992.6.2～17)	157	個人住宅	堀1、溝1、道路遺構1、縄文土器、磁石、陶器	町内Ⅱ
10	大井208-1、209-1、210-4	(1998.8.22) 1998.9.19～10.2	1,153.46	ガソリンスタンド	縄文時代落とし穴1、近世の近代土坑、近世近代掘立建物跡1、井戸1、溝1、ビット24、陶磁器、土器、瓦、石製品、金属製品、ガラス製品	町内Ⅵ・調査会12集
11	大井182	(1998.11.9～17)		個人住宅	近世ー近代の土坑6、溝5、陶磁器、土師器、鉄製品、ガラス製品、土製品、銭貨	町内Ⅷ
12	大井952	(1999.5.28～6.4) 1999.6.2～4	690	駐車場	溝5、陶磁器、銭貨、石器、鉄、瓦質土器、土師器	町内Ⅸ
13	大井1-8-1	(2000.11.21～24)	76	事務所	遺構遺物なし	町内Ⅹ
14	大井苗間129街区2画地	(2002.5.22～6.6) 2002.6.20～8.9	984	共同住宅	中世の溝9、井戸1、掘立柱建物跡、地下式坑1、茶毘跡6、土坑24、ビット	町内Ⅺ
15	大井苗間126街区1画地	(2002.7.24～8.2)	135	個人住宅	溝1、ビット4	町内Ⅺ
16	大井2-242-1	(2002.8.5～22) 2002.8.23～9.5	677	個人住宅	縄文時代の集石4、土坑1、ビット14	町内Ⅺ
17	大井1-11-9	2002.11.19～12.2	50	道路	近世ー近代の土坑14、ビット13、磁石、銭貨	町内Ⅺ
18	大井・苗間80-6-9	(2003.1.17～22)	476	個人住宅	溝2、陶磁器、ミニチュア土器、ガラス瓶	町内Ⅺ
19	大井1-6-13	(2005.6.7～8)	1,500	個人住宅	遺構遺物なし	市内2
20	大井1-7-7	(2006.3.2～14)	773	共同住宅	時期不明の溝12、ビット21、縄文土器、陶器	市内2
21	大井1-7-15	(2006.5.22)	174	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
22	大井字西原954-1	(2007.11.27～12.1)	1,962	寺院庫裏建設	礎石3、土坑4、ビット25、近代陶磁器、石製品	市内4
23	大井字西原955-1、956-1	(2012.11.7～9) 2012.11.12～14	502.82	専用住宅	近世ー近代の土坑10、近世ー近代の陶磁器、土器、ガラス製品、石製品、銭貨、木製品等	市内15
24	大井字西原959、960	(2014.6.23) 2014.6.25	68.55	宅地	土坑(ごみ穴)1、近世陶磁器、瓦他	市内20
25	大井2-14-13の一部	(2014.12.15)	414	畑	遺構遺物なし	市内20
26	大井1-11-1～2他	(2015.6.1)	993.73	宅地	遺構なし、磁石3	市内22
27	大井1-9-5の一部	(2016.9.12)	301	個人住宅	遺構遺物なし	未報告

※町:大井町町内遺跡群、調査:大井町遺跡調査会報告、市内:ふじ野市市内遺跡群

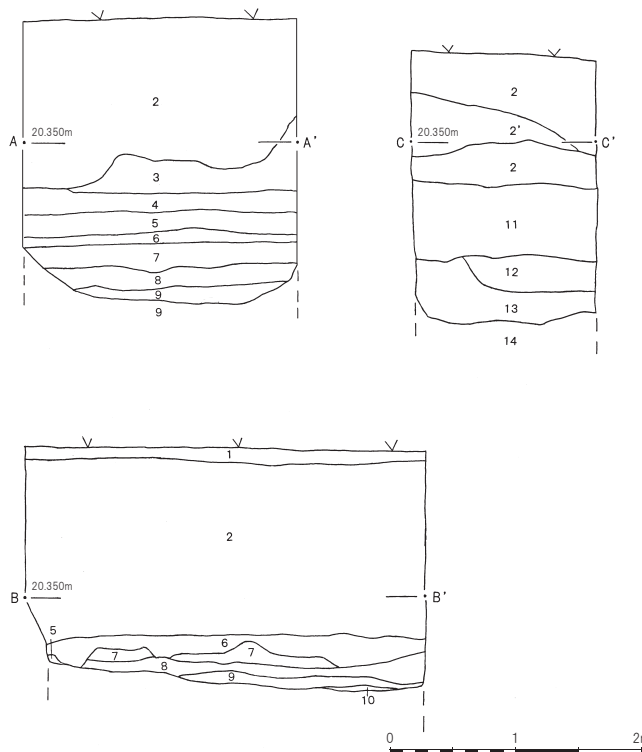
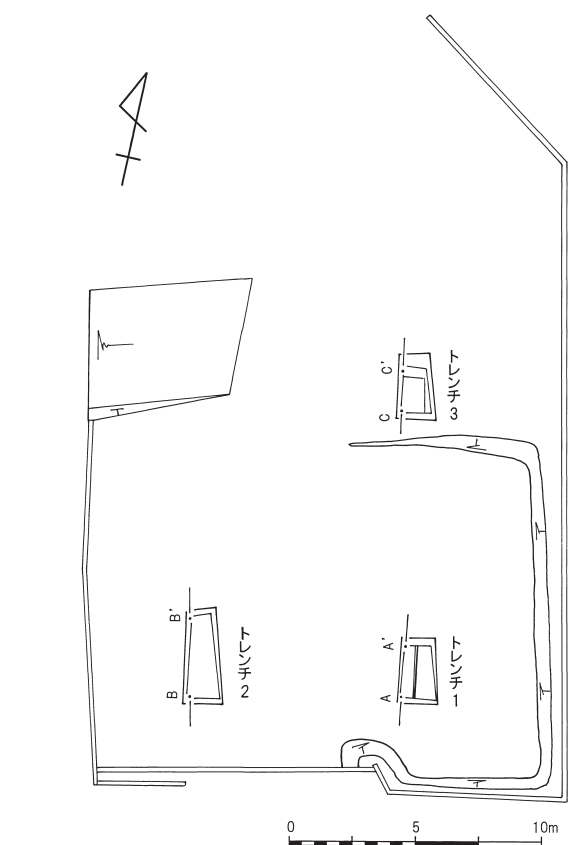


第 80 図 大井氏館跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

み野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 6 月 1 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.5m のトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力により表面精査を行った。

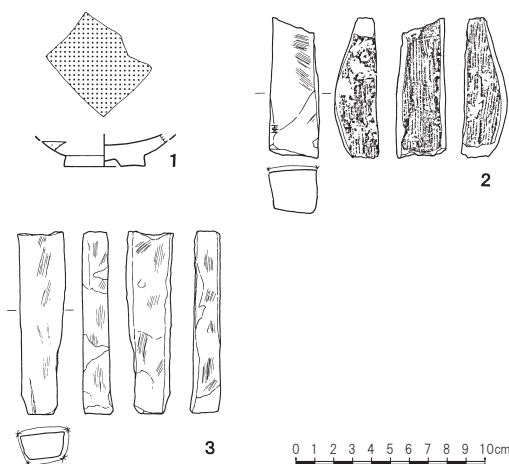
調査の結果、表土層が厚く堆積しており、現地表面から 2m 下まで掘削したが地山ローム層は確認できなかった。遺構は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

表土中より陶器片 1 点と砥石 2 点が、現地表面から 1.7~2.1m 下の焼土と炭化物を含む層から出土した。1 は瀬戸・美濃産の陶器碗の底部である。底径 4.3 cm、高台幅が 1.3 cm である。底部を除いた内外面に鉄釉を施す。18 世紀後半~19 世紀前半に帰属する。2・3 はどちらも流紋岩製の砥石である。2 は長さ 7.4 cm、幅 2.7 cm、厚さ 2.3 cm、重量 67.9g で灰色を呈する。3 側面に櫛目状成形痕が認められる。3 は長さ 9.6 cm、幅 2.4 cm、厚さ 1.4 cm、重量 56.78g で灰白色を呈する。上州産である。



1. 灰色碎石層
2. 黒褐色・暗褐色土 締り強、粘性やや弱、5cm 以下ロームブロック・15cm 以下多く含む、アスファルト塊伴う、内容物は似るが、トレンチ 1 は黒褐色、現代の盛土
- 2'. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体、シミ状に黒褐色土含むが、緻密な堆積、5~30mm の礫少し含む、盛土
3. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm 未満ローム粒少し含む、4 層との境に 5cm 以下の礫やや多く含む、盛土
4. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体、厚さ 2cm で黒褐色土の間層を複数挟む、盛土
5. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、2cm 以下ロームブロック・粒やや多く含む、盛土
6. 暗黄灰色土 硬く締る、粘性有、6cm 以下ロームブロック・粒多く含む、盛土
7. 黒褐色土 締り強、粘性有、黄灰色味が有る、5~30mm ロームブロック・黒色土ブロック少しやや多く含む、盛土
8. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、5~70mm ロームブロック・5mm 未満ローム粒多く、2cm 以下焼土・1cm 以下炭やや多く含む、盛土
9. 黒褐色土 締り有、粘性有、3cm 以下ロームブロック・2cm 以下焼土・6cm 以下炭多く含む、明治の大火に関係する可能性がある
10. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下焼土・炭・5mm 未満砂礫少し含む、比較的混入物少ない、盛土
11. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、6cm 以下ロームブロック・粒多く含む、2cm 以下焼土・炭化物物少し含む
12. 黒褐色土 締り有、粘性有、2cm 以下ロームブロック・粒少し含む
13. 黒褐色土 締り有、粘性有、12 層より色調明るめ、5mm 未満ローム粒少し含む
14. 黒褐色土 締り強、粘性有、13 層より黒色味が有る、3mm 以下ローム粒・5~20mm ロームブロックやや多く含む

#### 遺構外



第 81 図 大井氏館跡遺跡第 26 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/60)、出土遺物 (1/4)



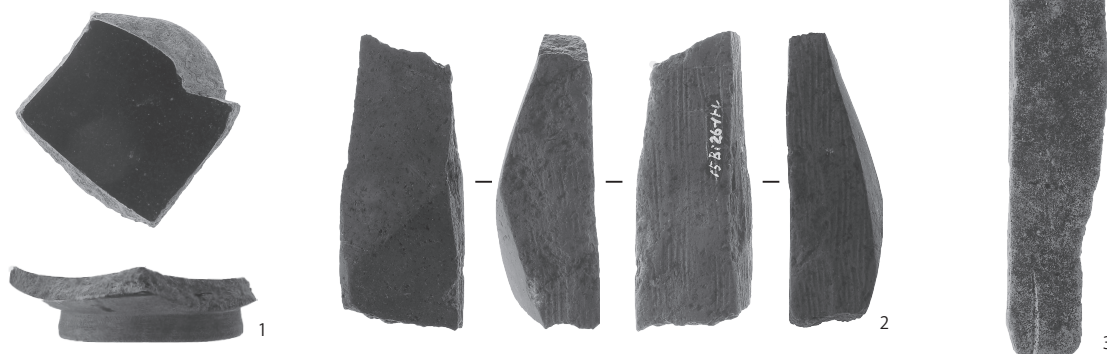


大井氏館跡遺跡第 26 地点調査風景



大井氏館跡遺跡第 26 地点

遺構外



大井氏館跡遺跡第 26 地点出土遺物